

生活相談員からのご挨拶

どんな職業なのかわかりにくいと思われがちな「生活相談員」についてご紹介！

本人様やご家族様が施設入所を考える際最初に対応するのが生活相談員になります。

生活相談員を通して、本人様やご家族様が施設を知り、評価し、入所を検討していただくという流れになることから、生活相談員は“施設の顔”と表現されることもあります。

生活相談員は、面談・調査した内容を施設へ持ち帰り、各職種が集まる会議を行い、入所へ向けて進めていきます。

入所後、在宅復帰を望まれる方の相談、他施設への移転の調整などを行うのも生活相談員の役目です。

何かお悩みやご相談などがありましたら気軽に生活相談員へお声かけください。

みやこんじょボランティアフェスティバル

島津乃荘が「みやこんじょボランティアフェスティバル2018」に参加します！

普段はご提供できないメニューをご用意しています。皆様ふるってお越しくください♪

日時：3月11日(日) 10～15時(雨天決行)
 場所：霧島ファクトリーガーデン
 出店内容：市民活動情報コーナー
 ●茶寮「紬」飲食物のご提供
 ●介護の情報「パネル展示・説明」
 ●施設ボランティア相談会

栄養科から行事食のお知らせ

2月「節分」


3月「ひなまつり」
 ごぼうと鶏肉の混ぜご飯
 赤魚の野菜あんかけ
 ぶきと油揚げの煮物
 菜の花とハムのサラダ
 すまし汁・桜ようかん

フラワーアレンジメントのご寄付

春の訪れを感じさせる、華やかで素敵なフラワーアレンジメントをご寄付いただきました！

都城に今年初めての雪が積もったとても寒い日でしたが、この満開に咲いた桜やチューリップの可愛らしさにポカポカと温かい気持ちになりました。

施設正面
 エントランス
 に飾っており
 ます。お越しの際には是非ご覧ください♪



介護ロボットフォーラム 2017

1月23日、東京有明において「介護ロボットフォーラム2018」と題した最新の介護ロボット展示会や体験・説明会開催されました。

全国各地の介護施設でのロボットやICTの活用事例が報告されますが、未だ効果検証・運用実績としての成果が確立されていません。

今回は睡眠の質を良くするベッドや介護者の負担を軽減する装着式スーツ、買い物などの外出時に活用できるGPS付き電動歩行器等を見させていただきました。

なかでもウェアラブル端末を腹部に置き、腸内の動きを観測して電子端末にお知らせする画期的なデバイスに注目が集まっていました。

介護業界における技術は進歩していますがこれらを何のために導入するのかを念頭に、効果検証を繰り返しながら介護の品質向上へ結びつけることが大切だと考えます。

また、介護者が良いツールをいかに使いこなすかも重要であり、アナログとデジタル双方のスキルを磨き続けることが不可欠になってくると実感しました。



※画像はCYBERDYNE社ウェブサイトより引用

特別養護老人ホーム 島津乃荘

〒885-0006 宮崎県 都城市 吉尾町 2200 番地 1
 TEL:0986-46-2155 FAX:0986-38-3677
 特別養護老人ホーム・短期入所生活介護
 訪問介護

広報紙へのお問い合わせ TEL: 0986-51-3111
 記事へのお問い合わせ TEL: 0986-46-2155
<http://keiwakagroup.com/sf/institution/>
 e-mail: info_shimadzunosho@keiwakagroup.com



関連事業所

- 戸嶋病院
医療療養病床
リハビリテーション
- 訪問看護
- ケアプランほっと郡元
(居宅介護支援事業所)